

もっと知りたい! どんなところで何を しているの?

Q

民生委員は日本全国に何人いるの?

民生委員・児童委員のこと、
なんとなくわかってきたね。
どんなふうにみんなの相談に
の乗ったり、見守ったりするんだ
ろう。



訪問活動

担当エリアに住むひとり暮らしの高齢者や、障がいがある方や、赤ちゃんが生まれたばかりのお宅を訪ねて、安全安心に生活できているか定期的に確認します。困っていることはないか聞いたり、地域のサービスや新しい仕組みを紹介したり説明したりもします。

サロン活動

生まれたばかりの赤ちゃんや、そのお母さん・お父さんなどが集まる「子育てサロン」を開きます。お母さんやお父さんがひとりぼっちで子育ての悩みを抱えてしまわないように仲間をつくる場です。悩みを聞いて、おしゃべりします。支えられる人やサービスを紹介することもあります。

他にも、家に閉じこもりがちな高齢者などが集まって交流する「いきいきサロン」など、「地域のなかの居場所づくり」もしています。社会福祉協議会などと協力して開くこともあります。



こんな活動もしている!

生活に困って「生活保護」を利用している人たちや、生まれたばかりの赤ちゃんの「乳児健診」を受けていない家庭でお話を伺ったり、相談に乗ったりします。また、「子ども食堂」をやったり、塾に通うことが難しい子どもたちに学びの場を提供する「学習支援」の活動を手伝うこともあります。



災害に備えたまちづくり

ひとり暮らしの高齢者や障がいがある方、赤ちゃんがいる家庭や外国籍の方(日本人としての戸籍をもたない方)などは、災害が起きたときに避難することが難しく、必要な情報が届かない可能性があります。そういった方たちが地域のどこに住んでいて、近くの住民たちとどうやって助けあうのか、協力して「災害福祉マップ」を作ります(写真は子どもたちと合同のマップづくり)。また、いざというときに市役所(町・村役場)や自治会、高齢者施設などと助けあえるように、よい関係づくりをしたり、避難訓練をしたりします。

定例会～委員どうしの情報交換～



登下校時のあいさつ運動

子どもたちが犯罪に巻き込まれたり事故にあわないように、登下校の時間に通学路に立って、見守りやあいさつ運動をしています。防犯協会と協力して、「青色防犯パトロール(青パト)」の車に乗って見守りをすることもあります。地域の危険な場所の点検や、児童虐待を防ぐための声かけもします。



民生委員・児童委員は子どもからおとなまでみんなと
かかわって、「支えあうまちづくり」をしているんだね。

※これらは代表的な活動例です。地域によって異なる活動をしている
こともあります。



A

全国合わせて23万人以上。どんな地域でも必ずいなくちゃいけない人数が決まっているんだ。